

かかわりのなかで成長を

校長

4月に始まった1学期もあと3週間となりました。まずは、1学期の子どもたち一人ひとりの頑張りに大きな拍手を送りたいと思います。この3か月で子どもたちは、日々の授業はもちろんのこと、学校行事や体験活動などを通して多くのことを学び成長しています。子どもたちの成長には、目に見えにくい内面的なものもありますので、現状では結果として表れていない部分もあるかと思っています。各家庭におかれましては、この1学期を総合的にふり返っていただき、結果には表れていない子どもたちの頑張りも含め、おおいに認め激励してください。



さて、来る7月22日(土)には、運動会が開催されます。今年度は、「限界突破～諦めず、みんなで壁を乗り越えろ」のスローガンのもと、子どもたちは、体育の授業や昼休みなどの時間を通し練習や準備に取り組んでいます。

本校の運動会は、全児童生徒が心をひとつにして取り組む大切な行事です。運動会当日は、多くの保護者の



方々に足をお運びいただき、躍動感あふれる競技や演技、仲間を支える係活動、そして団結力を示す応援合戦などから、お子様の成長を感じていただけたらと思います。

勉強は何のために

【児童生徒の皆さんへ】

人気アイドルグループHKT48の宮脇咲良さんの文が新聞に掲載されていました。自分の人生をしっかりと考えて生きていることに感動したので紹介します。

「『今しかできないことは今しなさい』『今しかできないから吸収する』私が迷った時の母の一言。宮脇家の教育方針とっていいのでしょうか。人生に欠かせない言葉になっています。

私は昔から好奇心旺盛でした。3歳からクラシックバレエ、ダンス、そろばん、水泳、学習塾。

やってみたいことは何でも習いました。その中でも特に魅力を感じたのはミュージカルと勉強でした。自分の努力に比例して上達できることに、楽しさを感じたからです。劇団四季のオーディションに合格し、子役としてミュージカルの舞台に立つことができたのですが、大人ばかりの現場で教えられたのは、プロ意識でした。

中学受験にも挑みました。勉強を通して、辛抱強く自分の限界を超える大切さを学びました。勉強していると周りの友達からよく聞く言葉があります。『方程式なんて生きていくうえで使わないのに何で覚えるの?』もしかしたらそうかもしれない。でも方程式を覚えようとするだけで集中力、記憶力、目標へ向けて頑張る力、色々な力が身につくと思います。だから、難しい問題を解こうと努力することは、将来、無駄にはならない。私はそう思っています。」

皆さんのなかにも「勉強は何のためにするんだろう」「今やっている勉強は何に役立つのだろう」と疑問を感じている人がいると思います。「いい成績をとるため」「いい学校へ入るため」と答える人もいれば、「将来の選択の幅を広げるため」というように、具体的な目標はないけれど、まあ頑張っておこうと思っている人もいることでしょう。一方では、たとえば医者やエンジニアなど、具体的な自分の夢の実現に向けて頑張っている人もいます。私は、勉強することで、「集中力」「考える力」「コミュニケーション力」「人の気持ちを考え、その人の立場に立って思いやれる力」「計画する力」「粘り強さ」などを身につけることができると考えています。その力があれば、これから先、どんな試練や困難に遭遇したとしても、より良い方法やより便利で効率的なやり方で立ち向かっていくことができるなど、ベター、ベストな方法や取組ができると思います。大事なことは「頑張る気持ち」をもつことと、そして具体的な目標をもって「実践を積み重ねていくこと」だと思います。「毎日、数学ワークを1ページ進める」とか「毎週、漢字と英単語を10個ずつ覚える」など、具体的な目標と計画を立てて実践することが大切です。

ただし、教室で受ける授業だけが勉強ではありません。様々な体験活動や行事等で受けた感動から学ぶこともたくさんあります。学びは、人間が成長するための栄養素です。

遠い将来のため、目の前の目標のため、と勉強にもさまざまな目的があると思いますが、「今しかできない勉強」を、児童生徒の皆さんには、真剣に精一杯頑張ってもらいたいと思います。

英国の森を知る

6月9日(金)、中学部1年生はWendover Woodsへ遠足に行きました。遠足中は木陰で雨宿りをする場面もありましたが、午後からは快晴となり、生徒は木漏れ日の中を歩きながら森の雰囲気を楽しめることができました。今回は学級の枠を超えた班編成を行いました。班で散策する中で、「英語の看板を日本語訳する」「植物の写真を3枚撮る」「大きな松ぼっくりを拾う」など、7つのミッションに挑戦しました。このような活動を班で協力しながら行った森林散策は、生徒にとって大変貴重な体験となりました。



中学部1年生は、今回の遠足に向けて「自然と人間がどのように向き合うべきか」をテーマに事前学習を行いました。遠足後の生徒の感想では「自然のお陰で動物や植物が生きられることを実感できた。」「植林の様子を実際に見て、木が再生することの難しさを知った。」などが書かれていました。今回の遠足を通して、様々な視点から身の回りの自然について考えることができました。

思い出深い旅



中学部第2学年は、修学旅行でスコットランドの街「エディンバラ」と「グラスゴー」を訪れました。実行委員が中心となり、スローガンを「つくれ」と決定し、臨みました。このスローガンには、事前学習で作成する壁新聞、班別分散学習の計画、修学旅行中のルールなど全てを自分たちで創り上げ、その中で仲間との絆を深めようという思いが込められています。

このスローガンのもと、生徒たちは旅行中の実行委員会議で毎日の成果と課題をまとめ、改善を図りました。特に、今何をすべきかを一人ひとりが考えて行動することができるようになりました。その結果、集団としての意識が高まり、大きく成

長した旅となりました。

様々な見学地を訪れた生徒たちは、スコットランドの歴史や文化に魅力を感じていました。班別分散学習においては、お互いを気遣いながら学習を進め、仲間との絆が深まりました。今回の修学旅行は、「仲間と共に成功させたい。」という思いが事前の学習から強く感じられました。この修学旅行で育んだ、仲間への優しさや集団の一員であることの自覚を今後の学校生活にも生かしてほしいと思います。

北イングランド・ウェールズへの旅



6年生は、6月14日から16日まで、修学旅行に行きました。

はじめに、陶器の街として有名なストーク・オン・トレントにあるエマ・ブリッジウォーターへ向かいました。目の前で職人さんが陶器を作る姿を見学した後、職人さんと同じ手法で絵付け体験をしました。絵付けを終えたとき、子どもたちは、達成感と充実感でいっぱいの表情で、世界で1枚だけのお皿の完成が待ちきれない様子でした。

次に訪れたのは、カーナフォン城です。カーナフォン城はチャールズ皇太子の叙位式典が行われ、映画「天空の城ラピュタ」のモデルになったと言われている城です。中に入ると、城の迫力に圧倒され、数多くの部屋がある城の中はまるで迷路のようでした。子どもたちは、映画で登場した場面を探しながら城を回ったり、カーナフォン城の歴史を感じたりすることができました。それ以外にも、スノードン山や、マンチェスターなども訪れました。

この修学旅行で、「時間を守ること」「周りの人のことを考えて行動すること」など、集団行動をする上で大切なことを学び、子どもたちの成長を見ることができました。小学部最高学年として、修学旅行で得られたものを今後の学校生活にも生かしていきたいと思います。

お知らせ

6月末日で、養護教諭の五十嵐文恵先生が産休に入りました。産休の間は、櫻井幸先生が養護教諭として着任いたしますのでお知らせします。